

今後のスポーツ関連施設に対する 指定管理者制度の活用を提言しました

鈴鹿市議会では、平成30年11月13日に「今後のスポーツ施設に関する指定管理者制度のあり方」について、全議員出席による議員間討議を行いました。その内容をとりまとめて、12月21日に「スポーツ関連施設の管理・運営に係る政策提言」を、正副議長と各党派代表者などから市長へ提出しました。



AGF鈴鹿陸上競技場

提言内容(一部抜粋)

- 1 中・長期的なスポーツ施設のあり方や管理運営手法について、市の考えを明確にすること
- 2 事業提案内容や仕様等について出来る限り詳細な議会説明の場を設けること
- 3 管理・運営と施設で提供する市民サービスについて、予算見積もりを明確にすること
- 4 公正性・透明性の確保、及びコンプライアンスに十分留意し、原則公募による指定管理者の選定を行うこと
- 5 サービス提供における安心・安全確保の観点から様々なリスク対応策を強化すること
- 6 今後の指定管理者指定に向けたスケジュールを適切な時期に提案すること

以上の点に留意され、地方自治法第244条の2の趣旨に則り、スポーツ関連施設に対し、指定管理者制度の活用を検討することを提言する。

第10回議会報告会の概要をお知らせします

平成30年9月定例議会の内容を中心とした議会報告会を市内3会場で開催し、合計118名に参加をいただきました。

第1部では9月定例議会の審議内容に関する報告、第2部では、常任委員会の所管事務調査から選定したテーマについての報告と意見広聴を行いました。

【郡山公民館】 平成30年10月29日(月) 19:00~20:45

第2部テーマ：住民主体の地域公共交通について



【アンケートでいただいた意見】

- ・学校からもらったチラシで参加した。縁が遠い市政を身近に感じ、普段から関心を持つきっかけになった。
- ・高齢化が進む中、身近で今後ますます大きな課題となる事項をテーマとされたことはよいことである。

参加人数17名
(アンケート回答者13名)

